

フリガナ ご氏名	イヤマ ヨウスケ 磯山 陽介
企業・団体名	三重県農業研究所
所属 (企業・団体の)	生産技術研究室野菜園芸研究課
役職	主査研究員



ご略歴	1983 年生まれ、2006 年静岡大学農学部卒業。2011 年三重県庁入庁し 2017 年から現所属。三重県農業研究所は、2009 年度の農林水産省補正予算「植物工場普及・拡大総合対策事業」に採択され、2011 年 3 月に植物工場三重実証拠点として竣工。20a の太陽光利用型植物工場です。トマト・イチゴの実証研究を行い、現在この施設では、トマトの低段密植栽培、長期多段栽培及びイチゴの高設栽培を行っている。実証の主な目的として栽培環境制御の最適化による多収化と計画生産を行い、具体的には、LED の樹間補光栽培、トマト「鈴玉」を用いた 55t 採り栽培の実証、温室内環境偏差を把握するためのツール作成などを行っている。
専門および 得意な分野・研究	温室内環境制御に関すること。また、直近では大規模法人化する植物工場経営の労務・財物損壊など様々なリスクに対応するため、リスクマネジメントの方法論に関する研究に取り組んでいる。
セミナータイトル	環境制御技術・設備の基礎
セミナー概要	太陽光利用型植物工場である植物工場三重実証拠点における各種設備を紹介するとともに、CO2 施用や、55t 採り栽培実証時の環境制御の取組状況について紹介する。また環境制御を実践する経営体に対して、温室内気温や CO2 濃度偏差を把握し、そのデータを元にした改善方法の提案などの支援内容について紹介する。
ご講演中のキーワード	施設農業、植物工場、太陽光利用型植物工場、環境制御、CO2 施用、温室内環境偏差
本セミナーで 習得できること	・これから環境制御を始める際のイメージが分かる。 ・植物工場三重実証拠点における環境制御方法の事例を把握できる。 ・環境制御が行われている温室内環境の実態が分かる。